



# 服部正樹 議員

Masaki Hattori



## Q. 消防団の応援施策を A. あいち消防団応援カードを配布する



消防団は、地域に密着した活動を展開しており、消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしているが、その消防団のなりの手が減少している。消防団員確保を推進すべきだと考える。

**Q** 消防団員の募集方法、団員の平均年齢、職業は。

**A** 総務部長  
町の広報紙、愛知消防団の日に募集と自治会の推薦など。平均年齢は約41・3歳で、全国平均より高い。就業は、会

**Q** 消防団員が利用した場合に、割引や優遇サービスなどを受けられる制度を導入したと聞いている。

**A** 総務部長  
消防団員が利用した場合に、割引や優遇サービスなどを受けられる制度を導入したと聞いている。

**Q** 自治体で、消防団員の確保とサポートをする「消防団応援事業」をしているが。

**A** 総務部長  
各自治体で、消防団員の確保とサポートをする「消防団応援事業」をしているが。

社員や役場職員などサラリーマンが約8割、自営業者が約2割。

### ▲消防団応援の啓発ポスター

**A** 総務部長  
愛知県からカードが届きしだい消防団員にカードを配布し、活用してもらおう予定である。

**Q** 「あいち消防団応援の店」制度を本町において、導入すべきだと考えるが。

**A** 総務部長  
本町への寄付金は、どのような形で使われたのか。

ふるさと納税は、自分の故郷を大切に思い、寄付という形でふるさとに貢献する制度として開始された。本町もふるさと納税に力を入れることで自主財源の確保、地域の魅力も全国に発信できるよつ、積極的に取り組むべきと考える。

**Q** 本町への寄付金は、どのような形で使われたのか。

**A** 総務部長  
その使い道について、寄付者の意向を聞いたうえで、希望の施策・事業へ充当した。

**Q** 町の地場産業、特産品や魅力ある町づくりに参加してもふる

## Q. ふるさと納税で魅力ある町へ

## A. 町のPR・地域振興につながるものを考える

ふるさと納税は、自分の故郷を大切に思い、寄付という形でふるさとに貢献する制度として開始された。本町もふるさと納税に力を入れることで自主財源の確保、地域の魅力も全国に発信できるよつ、積極的に取り組むべきと考える。

**A** 総務部長  
返礼品は、平成29年度実施に向けて、準備を行う。選定は、ふるさと納税制度の趣旨に沿った範囲内で、本町のPR、地域振興につながるもの

のを考えていく。

**Q** 今後、本町はどのようなPRしているのか。ふるさと納税を活用して、実施する事業などの考えは。

**A** 総務部長  
事業の実施は、税

に対する関心や本町の魅力を高める様な視点で検討を行う。